

多主体協働による地域課題の解決手法の開発 ～持続可能な社会システムの構築に向けて～



氏 名 川越 雅弘 教授

所 属 大学院／研究開発センター

U R L <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=262kawa#cont01>

研究分野 ・ 地域マネジメント
・ 地域包括ケアシステム
・ 地域づくり（民間企業・行政・NPO等のネットワーク構築）

キーワード 地域包括ケア,地域共生社会,多主体協働,プラットフォーム

研究シーズの概要

地域課題が多様化するなか、多主体協働による地域課題の解決が現在求められています。これを実現するためには、①ニーズを知る人と解決力を有する人の交流の場の構築、②課題の共有と対策の検討、③プロジェクトの具体的展開が必要となります。

本研究では、地域課題・社会課題の解決に向け、プラットフォームの構築・運営、具体的なプロジェクトの推進（県・市町村レベル）を図っていきます。

共同研究・受託研究のご提案

- 地域・社会課題解決のための**プラットフォームの構築**（NPO・民間・行政等）
- 課題解決に向けた具体的な**プロジェクトの推進**
- プロジェクト推進に向けた各種相談対応 等

【現在行っていること】

- 社会資源を共有するためのセミナーの定期開催（月2回開催）
（<https://www.spu.ac.jp/research/centers/tabid373.html>）
- 多主体を交えた意見交換会の開催（月2回開催）
- 「多主体協働による地域課題解決」を推進するための体制・方法に関する研究

特定講座のご提案

- 地域包括ケア／地域共生社会の実現に向けた制度改正の動向に関する講演
- 地域課題解決手法に関する講演
- 地域マネジメント／事業マネジメントに関する講演・講義 など

アピールポイント

複数の民間企業・日本医師会のシンクタンク・厚生労働省の研究所での勤務経験を有しており、多様な主体の連携・協働を図る上では適任かと思えます。また、すでに、地域課題解決に向けたネットワークも構築しています。埼玉県内で、多様な主体と連携し、地域課題を解決したい人は是非ご相談下さい。